

NPO法人

HUGこどもパートナーズのミニコミ誌

発行元:NPO法人HUGこどもパートナーズ

HUGコミ

第26号

2016年6月

[hug.com](http://npo-hug.com)

もパートナーズ(東村山市秋津町) / TEL&FAX: 050-3510-4587 / E-Mail: info@npo-hug.com / URL: <http://npo-hug.com>

子どものために選挙へ行こう!!

- ★20代、30代の選挙の投票率が低い
- ★18歳未満の子どもたちに選挙権がない

子育て中やこれから子どもを産み育てる世代の意見が政治に反映されにくくなっています。子ども達のこと、私たちの今、そして未来のことを真剣に考えてくれる政党、政治家を選ぶ目を持たなくちゃ!!

私たち「おとな」の一票は、
選挙権を持たない子どもの分も含めた大事な一票です！

年配の方向けの政策だけでなく、若者の方も
も考えた政策を提示している人に投票したい
(19歳女)

自分の一票でこの国の
未来を…と考えると、
やらなくてはならないと
思うので、(18歳になったら)
投票します(14歳女)

将来、投票に行くか
行かないか
まだ決めていない
(14歳男)

アンケートより

●特集● 選挙に関する アンケート

★期日前投票★

仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭など、投票日に行けない人はぜひ!
思っているよりずっと簡単♪

期間:公示日または告示日の翌日
から選挙期日の前日まで

時間:8:30~20:00

場所:①東村山市役所北庁舎1階
②東村山駅西口サンパルネ

参議院 東京都選挙区 予定候補者

※定数12:今回改選は6議席

- 自民党▶中川雅治(現)
朝日健太郎(元バレー選手)
- 公明党▶竹谷とし子(現)
- 民進党▶小川敏夫(現)/蓮舫(現)
- 共産党▶山添 拓(弁護士)
- 社民党▶増山麗奈(市民活動家・映画監督)
- 新党改革▶益戸育江(ナチュラリスト・元女優)
- 日本を元気にする会▶鈴木麻理子
- おおさか維新の会▶田中康夫(作家・元長野県知事)

衆議院投票率
2007年 57.87%
2010年 58.70%
2013年 53.50%

現職(今回改選の参議院議員)

- ・蓮舫:民進党
- ・竹谷とし子:公明党
- ・中川雅治:自進党
- ・小川敏夫:民主党
- ・松田公太:日本を元気にする会

現職(今回改選のない議員)

- ・丸川珠代:自由民主党
- ・山口那津男:公明党
- ・吉良佳子:日本共産党
- ・山本太郎:無所属
- ・武見敬三:自由民主党

雑記報

■ 私達がひろばや親子サロンを始めたころに比べて、本当に外で働くお母さんが増えたと感じます。幼稚園でも長時間預かってくれるようになります。一時預かりも充実したり、社会の状況も子育ての環境も10数年前とは随分変わっています。あの頃、小さな子をつお母さんたちがこんなにも働くようになるとは想像してなかつたというのが正直なところ。「少子高齢化」をようやく実感しつつ、その社会の変化のスピードについて

いけない焦りも感じています。今までなければ…ですね。■被災地の子育て支援を行う団体への支援に特化した「ひろば全協」の義援金を募りました。先日69000円を送りました。少しでも早く安心して生活できることを祈っています。募金にご協力ください。■ HUGこどもパートナーズが法人になつた方、ありがとうございました。今年で10年目、節目の年となりそうです。「HUGコミ」次号は3月発行予定です。

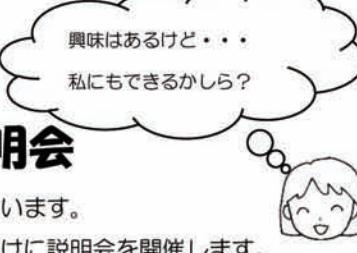
<http://npo-hug.com/>



提供会員 希望者向け 説明会

ファミリーサポートセンターでは、毎年提供会員養成講習会を開催しています。

地域で、ご近所で子育ての応援をしてみませんか?活動に興味のある方向けに説明会を開催します。
「提供会員ってどんなことするの?」「私にもできるかしら?」等、興味はあるけど…と迷われている方、ぜひご参加ください。



開催日	時間	場所
第1回 6月27日(月)	午前10時~11時	東村山市 地域福祉センター 1F 地域福祉活動室
第2回 7月12日(火)		市民センター 2F 第4会議室

✿ 内容はどちらの日も同じです。

✿ 申込み・参加費は不要です。

✿ 提供会員になるには心身ともに健康な20歳以上の市民の方で同センターが行う養成講習会(9.10月実施予定)を修了後に登録となります。



■お問い合わせ■ 東村山市ファミリー・サポート・センター

☎ 393-5137

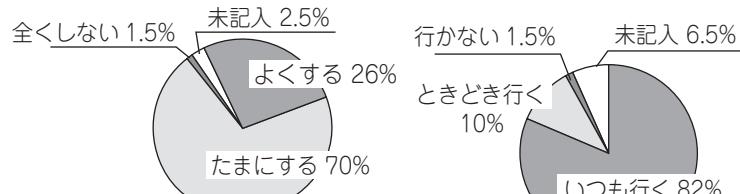
特集: 選挙に関するアンケート ■ 編集後記 ■

- 若者が真剣で感動した。わからなくてもわからないと書いてくれるなど、向き合ってくれた。
- 子どもたち、若者たちが今持っている思いが、この先づされないようにできることをしていきたい。数年後「残念だったね」とならないように…!
- おとなも若者も考えない人は、たくさんいる。今、世の中を諦めずに関わろうと思っている若者たちが、これから「考えない方」に流されないといいな。
- しっかりとした意見を持つのは難しい。自分は流されやすいし、みんなもっともらしいことを言うので、いちいち揺らぐ。でも、「消去法」で投票先を選ぶのはいいアイデアだと思った。
- 若者は若者(自分たち)のことを考えてほしいと願っていることが、アンケートからよくわかった。
- アンケートに答えること、HUGコミ編集に参加することで、自分のなかでも選挙に対する興味や意識づけができる。
- 今回の編集会議では、政治や選挙についていろいろ話あったが、「どこに入れる」とかではない形で政治のこと話をす場が、もっと普通にあつたらいいのにな。
- これまで選挙に興味がなかったが、考えてみると自分の生活に関係することばかり。こういう話はとてもいいと思った。



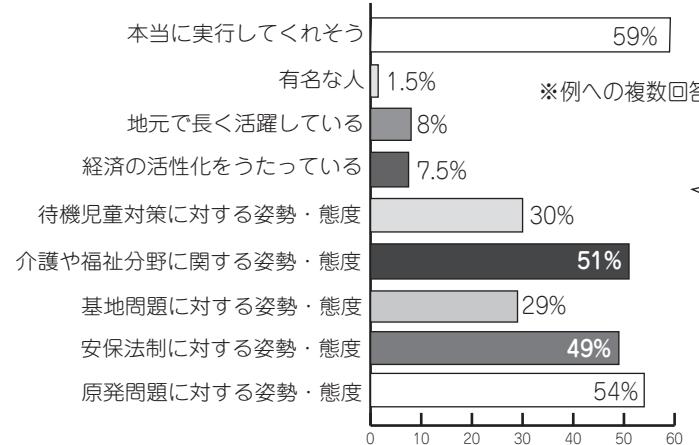
②あなたは家庭で選挙や政治の話をしますか？

①あなたはいつも投票に行きますか？



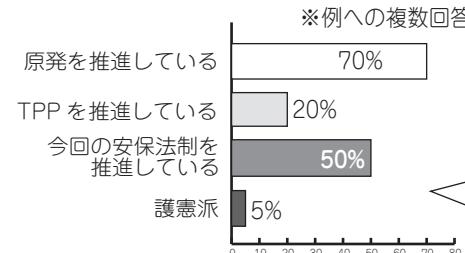
- 死票になつても、行かずに悔しがるよりは意志表示をしたい。
- 権利は行使し続けないと、なくなる恐れがあるから（60代）
- 誰に入れても同じだと思う時、面倒くさいと思ってしまう（20代）

③あなたは投票する政治家や党をどのように選びますか。



- 立候補した人の意見が見える討論会があるといい。嘘をつかない人を選びたい（50代）
- 入れたい政党がない場合は、よりマシな政党を選ぶ（50代）
- 弱者にやさしい（40代）
- 実行性、行動力、立法力があり、全体を直視出来る方を選択基準にします（70代）
- ネットで「自分に合う政党」を検索して決めている（40代）
- 政治家としての目的意識を明確に持っている方（60代）
- 嘘のなさそうな人（40代）
- 信頼できる人がいない、自分の選挙区にいない場合は、消去法で野党に入る（50代）
- お題目だけでなく、どう解決しようとしているかなど、政治に対する姿勢を見る（30代）

④選びたい政治家や政党がない場合、「これだけはダメ」という消去法で決める投票の仕方もあると思いますが、その場合あなたの「これだけは支持しない」理由はなんですか。



- 自分と反対の意見に自分の知らないことが隠れているのではと思うと、それをちゃんと知りたい（30代／女）

- 安保推進と原発推進はダメ。武力では何も変わらないし、原発は（今まで知らなかつたけど）東日本の災害で恐ろしいものと知ったから（40代）
- 共産党、公明党には入れません。宗教がからんでいるものは嫌（40代）
- 戦争に向かおうとしている政党、政治家は支持しない（40代／男）
- 経済の活性化ばかりを考えている政党、政治家は支持しない（50代）
- 芸能人に頼る政党は支持しない（40代）
- 安保推進、TPP推進、原発推進はダメ。日本の将来に深く関係するから（30代）
- 実現性がなさうなのに、根拠なくずっとアピールしている政党や政党（30代）



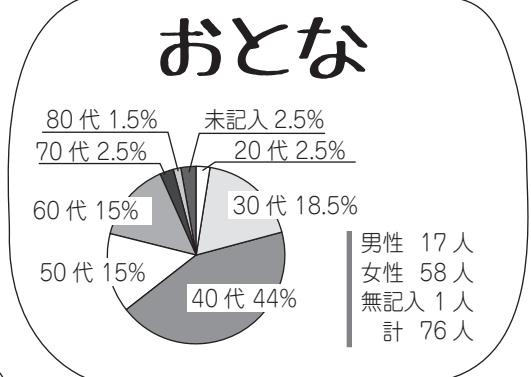
Twitterで得た情報だけだと、自分が得意を持っている人の情報しか得られないで、反対意見の政党の主張を調べた上で投票。答えが出ない場合は、チャーターサイト等を使う場合も（20代／男）

「投票したい人や政党がない」これが、一番困る…！でも、「これだけはダメ」の方針を持つと楽かも！



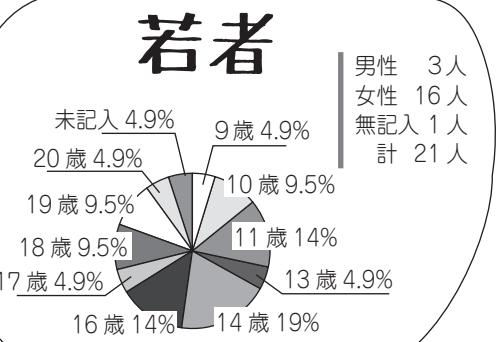
自分たちで作ったアンケートだけど、自分で書こうと思ったらすごく難しかった（T.T）

おとな



アンケートにご協力ありがとうございました
2016.4.24～5.20 実施 おとな 76名 若者および選挙未経験者 21名

若者

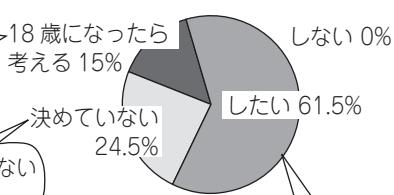


②あなたの家族（親）は投票を行っていますか？

行っている 100%
(行っていない、知らない 0%)



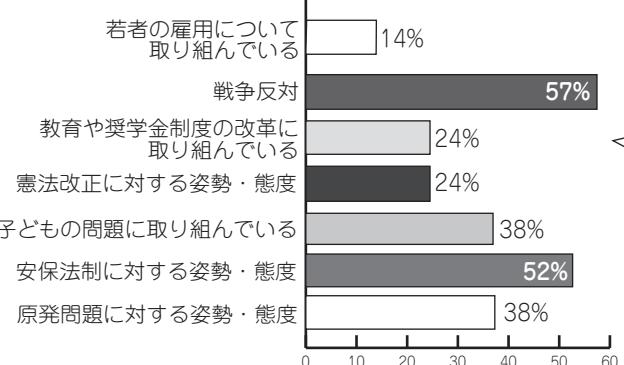
①あなた選挙で投票したいと思っていますか？



- テレビなどで結果を見聞きするだけでなく、積極的に参加したいから（18歳）
- いま、投票率が低くて、本当の世論の意見というものを反映出来ていないような気がする（16歳）
- 投票しないなければ、政治に何か不満を持った時に何も言えないと考えるから（19歳）
- 投票しない国になると何も決まらない（11歳）
- 自分の票で少しでも変わるかもしれないから（14歳）

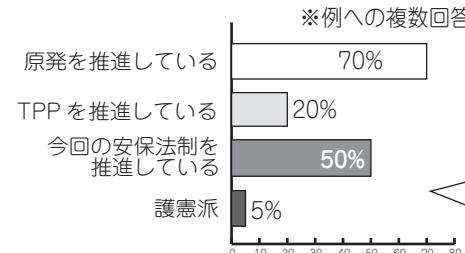
③あなたは投票する政治家や党をどのように選びますか。

※例への複数回答



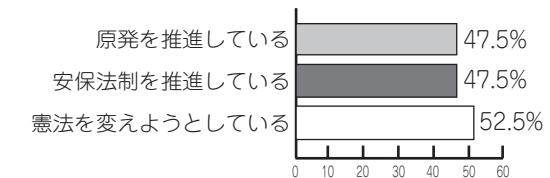
- この国の未来を一番平和に近いところまで持っていくような取り組みをする、と態度で示している人（14歳）
- いざ選ぶとなると知らないことが多い、どのように選ぶ自分の思う社会になるのかわからない。でも選挙権を持ったら投票に行きます（16歳）
- 若者の世代について考えている人（16歳）
- 年齢の方向けだけでなく、若者のことも考えた政策を提示している人（19歳）
- 待機児童のこと（11歳）
- 災害に対する補償や対応がしっかりしている人（14歳）

④選びたい政治家や政党がない場合、「これだけはダメ」という消去法で決める投票の仕方もあると思いますが、その場合あなたの「これだけは支持しない」理由はなんですか。



④選びたい政治家や政党がない場合、「これだけはダメ」という消去法で決める投票の仕方もあると思いますが、その場合あなたの「これだけは支持しない」理由はなんですか。

※例への複数回答



- 具体的な政策がないのにもかかわらず、今の政権に反対ばかりしてくる政治家や政党（16歳）
- 戦争等武力解決の方向にもっていこうとする人（14歳）
- 日本では地震が多くてリスクがありすぎるから原発進はダメ（16歳）
- TPPの推進に反対（14歳）



子どもたちがこんな風に感じ、考えていることが、知れてよかったです！

- *「安保法案を推進している人を支持しない」を選んだ人の意見
- 自分たちも（戦争に行くことになるかも知れないから（14歳）
 - 説明がきちんとされていて良く知らないから



「家族が投票しているか」の回答が「行っている」が100%はびっくり！講座「憲法ってなんだっけ」の参加者とHUGメンバーの子どもたちが多かったからかな^ ^;

投票に行こう！諦めたら子どもたちに申し訳ない！

短い期間に多くの方にアンケートにご協力いただきました。どうもありがとうございました。子どもたちの意見に感動！どんな社会を残してあげたいのか…本気で考えていかなくちゃ。

